

## 幼児理解研究室(榎沢良彦)

### ▶榎沢良彦先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

私は、子どもと保育者が共に生きている世界を「保育世界」と考えています。その保育世界を、子どもと保育者がどのように生きているのか、保育世界で体験することにどのような意味を見ているのか、そして、その体験により子どもと保育者それぞれの生きる世界がどのように変わっていくのか、ということを中心にしたいと思っています。これは、私が学生の時からの一貫して持ち続けている関心であり、研究テーマです。

人を理解するとは、その人がその人自身の世界を如何に生きているのかを理解することです。それは同時に、自分自身が如何に生きているのかを理解することでもあります。したがって、私の行っている研究は、保育世界を理解することを通して自分を理解することです。

### ▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

4年次のゼミでは、卒業研究として「卒業論文」の作成に取り組んでもらっています。私の研究テーマは保育世界(子どもと保育者)を理解することです。何のために理解するのかというと、それは保育実践をするためです。すなわち、私のゼミの学生たちには、子どもを保育する力(保育実践力)を高めてほしいと願っています。それゆえ、私のゼミには、子どもを如何に理解し、子どもの成長を援助するかということに関心のある学生に入ってほしいと思っています。そういう関心を持っている学生たちには、保育の現場に入り、子どもと関わった体験から学ぶことを推奨しています。すなわち、私は保育世界を体験することを重視しています。

しかし、卒業論文は、保育世界を体験するだけでは作成できません。自分の体験から新たな知見を見出すには「勉強」が必要です。つまり、学問の成果を学ぶことが不可欠です。学問の成果は、私たちを高みに導き、個人の狭い視野を広げてくれます。新しい視野に立つことで、人は新たな発見をすることができます。それゆえ、私のゼミの学生には、多少難しくても、専門書を読むことを求めています。そういう意欲のある学生が来てくれると大変嬉しいです。

### ▶もっと知りたい方へ

#### 【著書】

- ・『幼児教育と対話~子どもと生きる遊びの世界』岩波書店 2018年
- ・『生きられる保育空間~子どもと保育者の空間体験の解明』学文社 2004年

#### 【社会的活動】

- ・東京都児童福祉審議会委員
- ・千葉市子ども・子育て会議委員
- ・千葉大学附属幼稚園学校評議員